

第七十九回  
帝國議會  
貴族院

北支那開發株式會社法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

(四)

付託議案

北支那開發株式會社法中改正法律案(政)  
中支那振興株式會社法中改正法律案(政)  
日本勸業銀行法中改正法律案(政)  
農工銀行法中改正法律案(政)  
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政)

委員氏名

委員長 侯爵西郷吉之助君  
副委員長 子爵高橋 是賢君  
子爵綾小路 護君  
小倉 正恒君  
男爵水谷川忠磨君  
赤池 濃君  
米山 梅吉君  
橋本辰二郎君  
吉村友之進君

昭和十七年一月二十二日(木曜日)午後一時四十分開會

○委員長(侯爵西郷吉之助君) 是ヨリ本委員會ヲ開催致シマス、最初ニ政府委員ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(及川源七君) 只今議題ニナリマシタ北支那開發株式會社法中改正法律案及中支那振興株式會社法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ一括シテ御説明申上ゲマス、本改正ノ第一ノ眼目ハ、北支那開發株式會社又ハ中支那振興株式會社ニ對スル政府出資限度ノ擴張デアリマス、支那事變開始以來、政府ガ臨時軍事費特別會計ヨリ支辨致シマシタ車輛、枕木、軌條、其ノ他各種鐵道

用財産ハ、其ノ整理ノツキ次第、逐次政府ノ兩會社ニ對スル現物出資ニ充當シ、兩會社ハ之ヲ華北交通株式會社、又ハ華中鐵道株式會社ニ現物出資シ、企業資本トシテ運用シテ參ツタデアリマス、北支ニ於キマシテハ現在迄斯様ナ處理ヲ了シマシタ財産ノ價額ハ約一億五千萬圓ニ上ツテ居ルデアリマシテ、之ニ政府ノ現金出資約二千五百萬圓ヲ加フレバ、北支那開發株式會社ニ對スル政府出費總額ハ、殆ド現行法ノ政府出資限度一億七千五百萬圓ニ垂ントシテ居ル狀態デアリマス、然ル處、其ノ後此ノ種財産現地ニ蓄積セラレ、政府ノ出資ニ充當セラルベキモノガ、約八千八百萬圓ニ達シテ居リ、將來ニ於キマシテモ此ノ種財産ガ相當巨額ニ上ルコトモ豫想ニ難クナイデアリマス、ソコデ之ヲ政府ノ北支那開發株式會社ニ對スル出資ニ充當シ、其ノ保全ヲ圖ル傍ラ企業資本トシテ合理的ニ運用スルコトハ、軍ノ作戰ニ即應シテ可及的速カニ處理スベキ案件ト存ゼラレマスノデ、此ノ際北支那開發株式會社ニ對スル政府出資限度ヲ擴張シテ、斯ル要請ニ應ジヨウトスル譯デアリマス、中支ニ於キマシテ政府出資ニ充當濟ノモノハ二千萬圓餘ニ上リ、之ニ政府ノ現金出資ヲ加ヘレバ三千二百五十餘萬圓トナリ、出資餘力ハ千七百餘萬圓トナツテ居リマス、現在ニ於テ現物出資充當豫定ノ財産價額ハ約千四百萬圓デアリマシテ、若干マダ餘力ガアル譯デアリマスガ、將來ノコトヲ考慮スレバ矢張り北支ニ於ケルト同様、此ノ際

政府ノ出資限度ヲ擴張シテ置ク必要ガアルト思料セララル、次第デアリマス、而シテ現物出資ノ範圍、價額等ニ付キマシテハ、恆例ニ依リ政府出資財産評價委員會ニ付議シテ決定スルコトニナツテ居リマスガ、唯現行法ノ政府出資財産評價委員會ニ關スル規定ニハ、増資ノ際ノ現物出資ニ付テハ付議スベキ規定ガアリマセヌノデ、此ノ際其ノ缺漏ヲ補充スルコトニ致シタ次第デアリマス、本改正ノ第二ノ眼目ハ、北支那開發株式會社ヲシテ中支那振興株式會社ト同様ニ、特殊ノ必要アル場合ハ自營業ヲ營マシムルコトトシ、之ニ關聯シテ多少ノ條文整理ヲ行ハムトスル點デアリマス、本來本會社ハ投融資會社デアリマシテ、其ノ投融資力ヲ通ジテ關係會社ノ業務ヲ統合調整シテ居ルデアリマスガ、投融資ノミヲ通ジテノ關係會社業務ノ調整ニハ自ラ限度ガアリマスノデ、十分ナル統合調整ヲ圖ル爲ニハ、關係會社ノ需要スル物資ノ購入、貯藏、配給、又ハ共通ニ利用セララル、病院其ノ他福利施設ノ經營等ノ事業ヲ營マシメテ、關係會社ノ業務ノ内容ニ即シテ調整ヲ施シ、其ノ消長ヲ不斷ニ觀察セシメルコトガ必要ナノデアリマス、又他ニ適當ナル企業者ガ進出ヲ肯ンジナイカ、又ハ見付カラナイ時、又ハ見付ケルノニ相當ノ日時ヲ要スル時ニハ、直接ノ生産事業ヲ營マシムル場合モアリ得ルコトト考ヘラレルデアリマス、唯之ガ爲本會社ガ事業會社ニ變形スル譯デアリマセヌノデ、投融資業務ヲ中心トスルコトハ

固ヨリデアリマス、本改正ノ第三ノ眼目ハ商法ノ規定ト歩調ヲ合セ、理事及監事ノ任期ニ關スル特例ヲ設ケマシテ、任期滿了後直チニ後任補充ノ爲ニ態々株主總會ヲ開催スル不利ト不便ヲ救フ爲、定款ノ定ムル所ニ依リ、其ノ任期ヲ伸張シ得ルコトト致シタ譯デアリマス、以上ハ何レモ現地ニ於ケル緊急ヲ要スル經濟的措置ノ前提トナル法律ノ整備デアリマスノデ、何卒十分御審議ノ上速カニ御同意アラムコトヲ希望致シマス、尙本法律案御審議ニ當リマシテ、詳細ナル問題ニ關シマシテハ、政府委員外ノ説明員ヲシテ説明セシムルコトト致シタイト存ジマス

○政府委員(谷口恒二君) 本委員會ニ併託セラレマシタ日本勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案及北海道拓殖銀行法中改正法律案ノ三件ニ付キマシテ、一括致シマシテ其ノ提案ノ理由ヲ御説明致シマス、日本勸業銀行、農工銀行及北海道拓殖銀行ハ何レモ設立以來順調ナル發達ヲ遂ゲマシテ、其ノ基礎ハ強化セラレ、資金供給ノ能力ハ相當大ナルモノガアリマスルガ、是等ノ銀行ノ業務ニ對シマシテハ、現行法上尙相當嚴重ナル制限ガ設ケラレテ居ルデアリマス、然ルニ軍需産業其ノ他時局産業ニ對スル事業資金ノ供給ノ圓滑ヲ圖リマスル必要ハ、既ニ緊切ナルモノガアルデアリマシテ、是等ノ銀行ヲシテ時局ニ即應シ、其ノ豐富ナル資金ヲ以テマシテ、事業金融ノ疏通ノ爲遺憾ナキ活動ヲ爲サシメ



マズル爲ニハ、現行法律ニ定メラレテ居リマスル是等ノ銀行ノ業務ニ對シマスル諸制限中ノ或モノハ之ヲ撤廢又ハ緩和スル必要ガ認メラレテ居リマス、今回改正ヲ行ハムトスル主ナル點ニ付テ御説明申上ゲマスルト、第一ニ現在軍需産業其ノ他時局産業方面ニ對スル事業金融ハ、主トシテ財團抵當定期貸付ノ方法ニ依ッテ行ハレテ居ルノデアリマスガ、此ノ方法ニ付キマシテハ有抵當定期貸付金ノ總額ニ付制限ガアリマス、又擔保物ノ鑑定價格ニ對スル貸付金額ノ制限ガアリマシテ、圓滑ナル貸出ヲ爲ス上ニ支障ガアリマスルノデ、是等ノ制限ヲ撤廢致シマスルト共ニ、新タニ工場建設中ノ場合ニハ無擔保建設資金ヲ貸付ケ得ル途ヲ拓ク等、事業金融ノ圓滑化ヲ期スルコトト致シタノデアリマス、第二ニ國家總動員法ニ基ク融資命令ヲ是等ノ銀行ガ受ケマシタ場合ニ付テモ、右ト同様ニ法律上ノ制限ガアリマスル爲、命令ノ實效ノ擧ガラナイ虞モアリマスルノデ、既ニ申上ゲマシタ諸制限ヲ撤廢致シマスル外、大藏大臣ノ認可ヲ受ケマシテ、短期ノ無擔保貸出ヲ爲スコトヲ新タニ認メ、緊急ノ需要ニ應ジ得ルノ途ヲ拓クコトト致シタノデアリマス、第三ニ是等ノ銀行ガ他ノ金融機關ト共同シテ時局金融ヲ爲サントスル場合ニモ、種々支障トナル制限ガアルノデアリマシテ、特ニ貸付ノ擔保ハ一番抵當デアルコトヲ要スルト云フ制限ハ、此ノ場合障礙トナリマスルノデ、此ノ點ヲ緩和致シマシテ、新舊貸付金額ヲ合シ、鑑定價格ヲ超エナイ時ハ貸付ヲ爲シ得ルコトニ改メタノデアリマス、第四ニ現在無抵當貸付先ハ法律ニ列舉セラレルモノニ限定セラレテ居ルノデアリ

マスルガ、之ヲ擴張致シマシテ、時局ノ要請ニ應ジマシテ新設サレマスル所ノ特殊法人、組合等ニ對シマシテモ無抵當貸付ヲ爲シ得ルノ途ヲ拓クコトト致シタノデアリマス、尙北海道拓殖銀行ノ業務ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタ第一乃至第三ノ點ハ從來カラ制限ガナイノデアリマシテ、今回改正致シマスルノハ、北海道拓殖銀行ニ付キマシテハ、此ノ最後ノ第四ノ點即チ貸付先ノ擴張ノ點ノミデアリマス、以上御説明申上ゲマシタ三法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上御賛成アラムコトヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○委員長(侯爵西郷吉之助君) チョット皆サンニ御諮リ致シマスガ、本日ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、明日次會ニ讓リタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷吉之助君) ソレデハ本日ハ此ノ程度ニ止メマシテ、次會ハ明日ノ午前十時ヨリ開會致シマス

午後一時五十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵西郷吉之助君  
副委員長 子爵高橋 是賢君  
委員  
子爵綾小路 護君  
男爵水谷川忠麿君  
赤池 濃君  
米山 梅吉君  
橋本辰二郎君  
吉村友之進君

政府委員  
興亞院部長 及川 源七君

大藏次官 谷口 恒二君  
大藏省銀行局長 山際 正道君